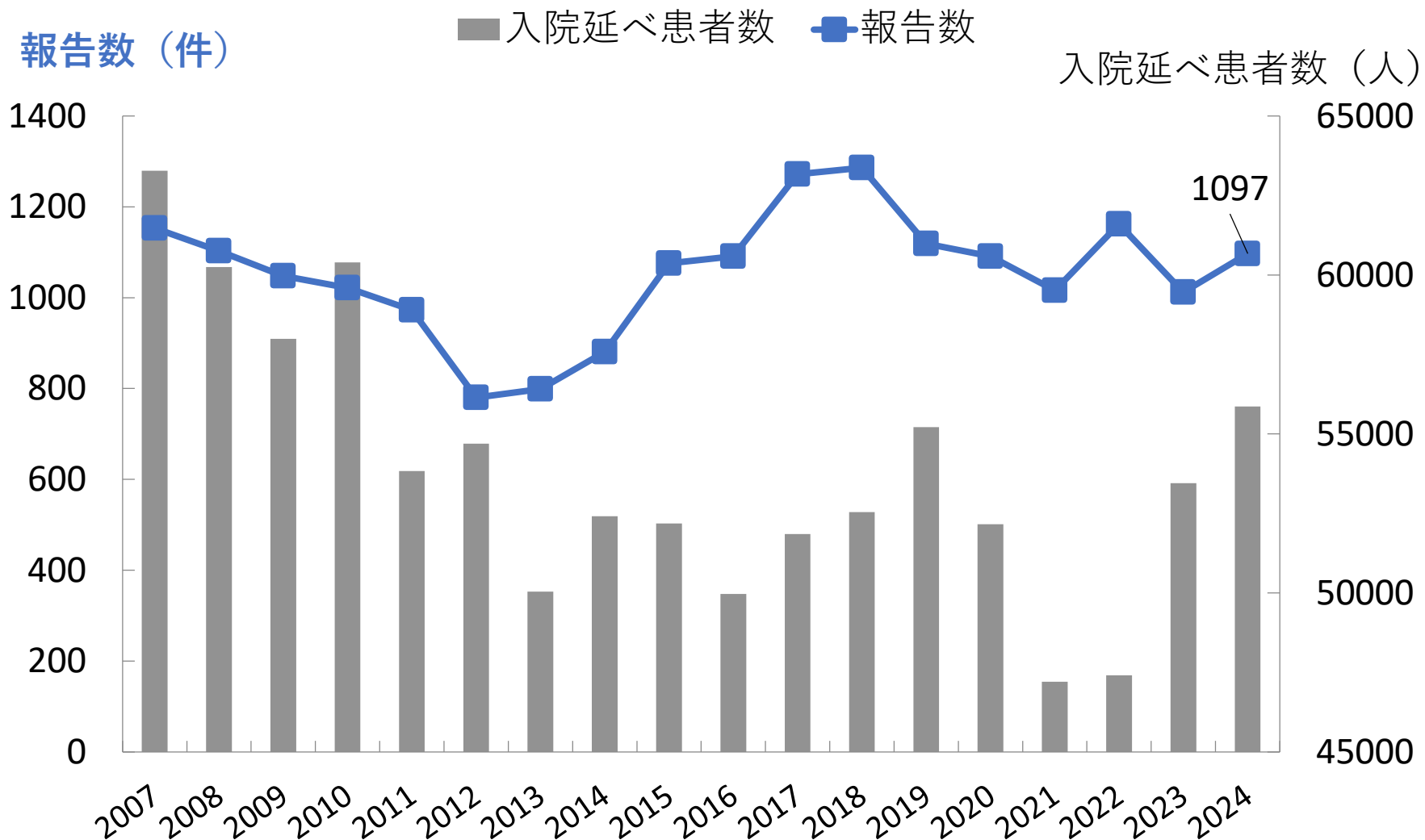


2024 医療安全に関する報告

安全管理委員会

2024年 6月

入院延患者数と報告数の推移



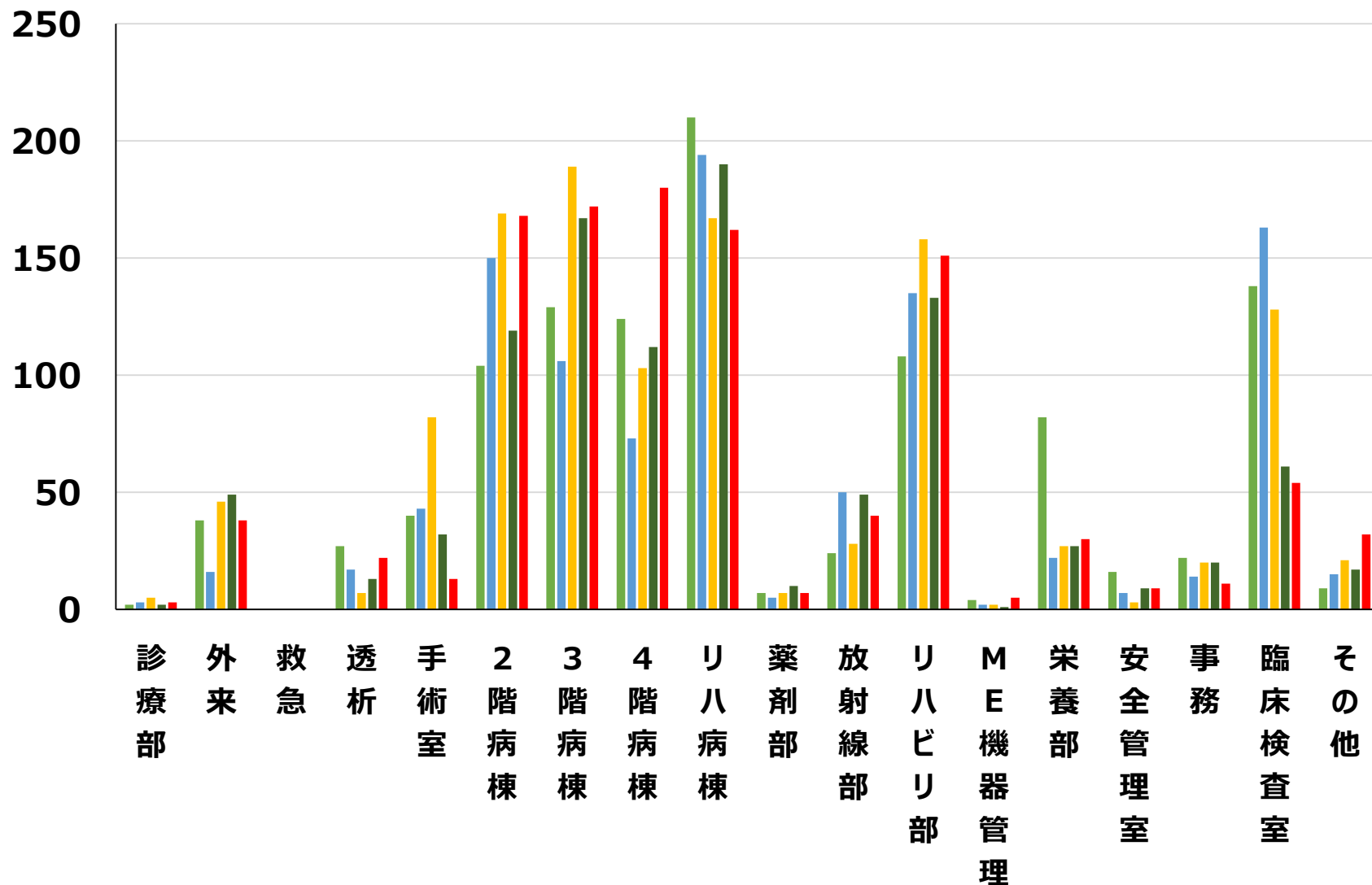
部署別インシデント・アクシデント報告の年間件数

	インシデント 他				アクシデント				総 数			
年 度	2021	2022	2023	2024	2021	2022	2023	2024	2021	2022	2023	2024
報告数	964	1083	938	1035	52	79	74	62	1016	1162	1012	1097
診療部	3	1	1	2	0	4	1	1	3	5	2	3
安全管理室	2	2	5	8	5	1	4	8	7	3	9	9
看護部	559	698	622	705	41	65	61	56	600	763	683	761
薬剤部	4	7	10	7	1	0	0	0	5	7	10	7
放射線科・ ME・臨床検査	215	157	110	98	0	1	1	1	215	158	111	99
栄養・調理	22	27	27	30	0	0	0	0	22	27	27	30
リハビリ部	130	151	126	148	5	7	7	3	135	158	133	151
事務部	15	20	20	11	0	0	0	0	15	20	20	11
その他	14	20	17	26	0	1	0	0	14	21	17	26

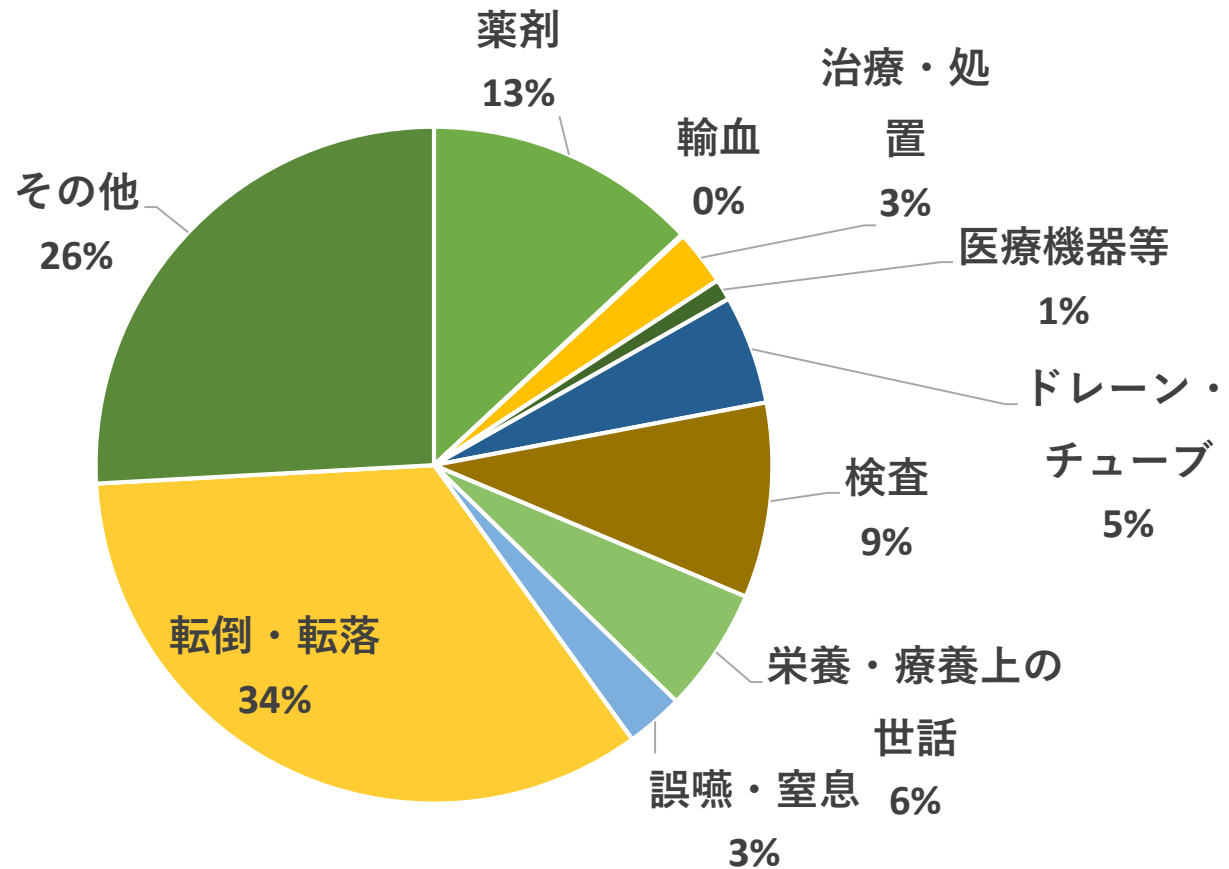
部署別報告数

(件)

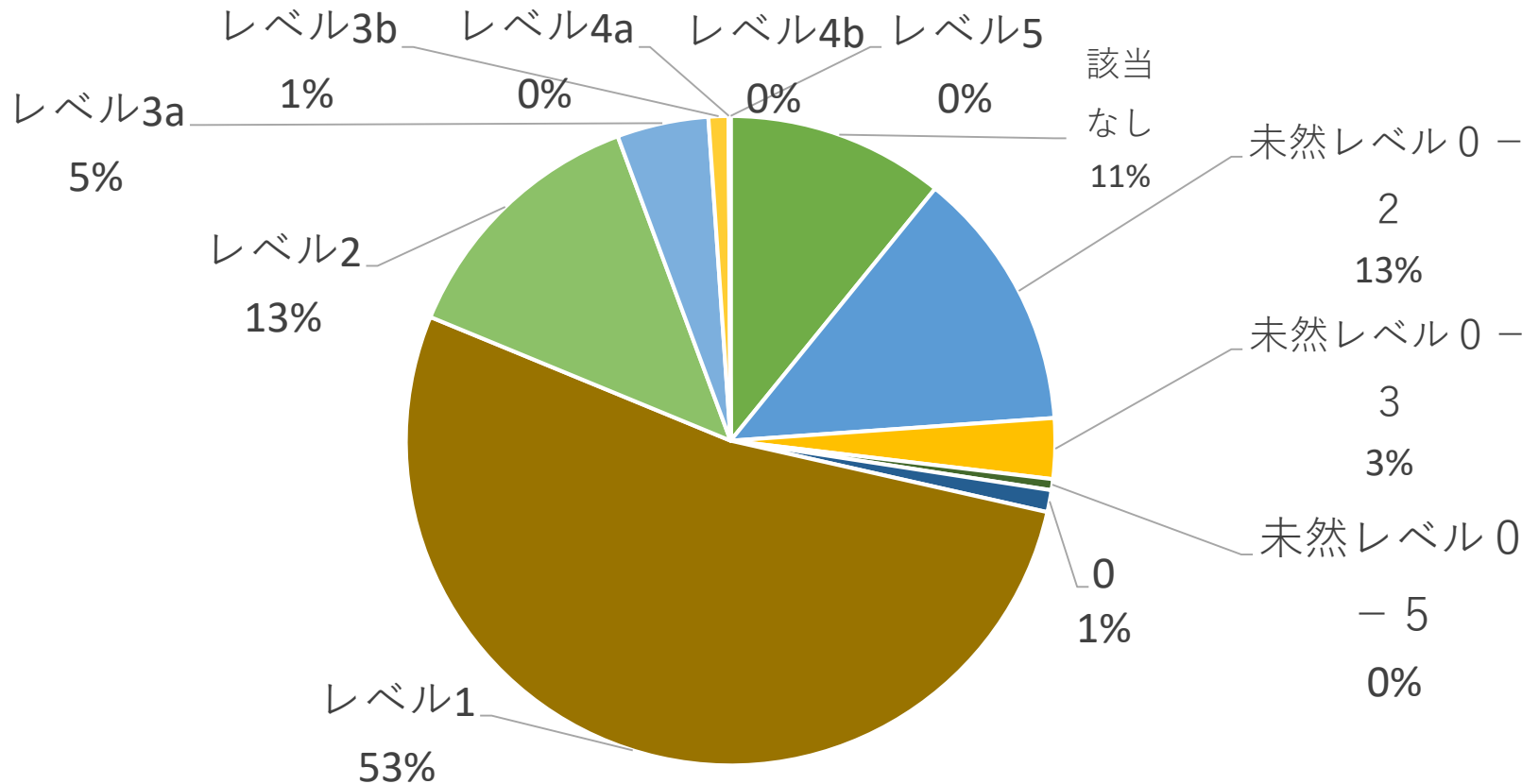
2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度



発生場面の報告割合



患者影響レベル別の割合



患者影響レベルの説明

患者影響レベル	説明
該当なし	患者影響レベルに該当しないもの。その他。
未然レベル	実施されなかった。
レベル0	医薬品や医療機器の不具合があったが、患者に実施されなかった。
レベル1	医療行為（医療ミス、やるべき処置等を実施しなかった場合も含む）や管理上の問題により、患者への実害はなかったが、患者に何らかの影響をあたえた可能性を否定できない。
レベル2	一過性で障害は軽度。患者にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた。湿布・カットバン等
レベル3a	一過性で障害は中等度。簡単な処置や治療を要した（皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。
レベル3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折等）。一過性で障害が重度
レベル4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
レベル4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
レベル5	事故が死因となる場合。現疾患の自然経過によるものをのぞく。